

変革・創造・実践

MONTHLY ZEN-NOH GUNMA

県本部通信

2014
December

No. 153

12



JA全農ぐんま

私たち全農グループは、**生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋**になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。





秋の大植木祭り
(11.1・2 花木流通センター)



第2回コンプライアンス推進全体職員研修会
(11.6 JAビル)

■年に一度のビッグイベント

11月1日(土)・2日(日)、花木流通センターは「大植木祭り」を開催しました。このイベントは、日頃から店舗を利用してくださっているお客様に感謝の気持ちを込めて、毎年行われています。会場には県内優良生産者が栽培した植木や果樹苗木がずらりと並び、松の手入れや果樹苗木の植え方講習会・モツ煮の無料配布・くじ引き大会・骨董市なども行われ、多くの来場者で賑わいました。

■コンプライアンスへの取り組みを強化

11月6日(木)、コンプライアンス推進部主催の「第2回コンプライアンス推進全体職員研修会」がJAビル大ホールにて開催され、当県本部の職員及び関係各社の役員などが参加しました。研修会では、須藤本部長の挨拶に続き山本常務が訓辞を述べ、参加者の意識統一を図りました。その後、理事長メッセージの放映や、平成26年度コンプライアンス推進・リスク管理実施計画の上期報告と下期の取り組みについての説明が行われました。



JAファーマーズ野田宿新築工事地鎮祭
(11.19 吉岡町建設予定地)



平成26年度TAC管理者先進地視察研修会
(11.20・21 宮城県)

■期待の新店舗着工

11月19日(水)、「JAファーマーズ野田宿新築工事地鎮祭」が執り行われ、設計及び施工代行を務める当県本部も出席しました。この施設は、農産物直売所を併設したAコープの新店舗です。生産者600人体制で、新鮮な野菜・果物・花卉などを充実させ、「毎日の感動と笑顔あふれるお店」をコンセプトに来年6月にオープンする予定です。

■先進的な取り組みを視察

11月20日(木)・21日(金)、群馬県営農総合支援センターは、JAのTAC担当部課長・管理者などを対象に、担い手農家への対応強化を図ることを目的とした「平成26年度TAC管理者先進地視察研修会」を開催しました。研修会では、JA-TAC活動に先進的に取り組むJAあさひなを視察し、活動事例についての説明や課題・問題点についての活発な意見交換が行われました。



第19回「群馬のこんにやくは日本一だんべ！」
ジャンボ生玉コンテスト
(11.21 花木流通センター)



JA 赤城たちばな北橋支所オープニングセレモニー
(11.25 JA 赤城たちばな北橋支所)

■こんにやく芋の認知度向上を図る

11月21日(金)、群馬県蒟蒻生産協会主催による「第19回『群馬のこんにやくは日本一だんべ!』ジャンボこんにやく生玉コンテスト」が開催され、12点が出品されました。審査員により、重量・バランス・キズ・栽培技術・栽培努力が評価され、厳正なる審査の結果、最優秀の「横綱」には、黒澤克彦さん(JAたのふじ)の生玉が選ばれ、「29.09kg」を記録しました。

■利用者目線に立った新支店堂々オープン

11月25日(火)、「JA 赤城たちばな北橋支所オープニングセレモニー」が執り行われ、設計及び施工代行を務めた当県本部も出席しました。新支所は、渋川市北橋総合支所や幼稚園に隣接した立地となっており、若い世代の新規顧客獲得を目指します。また、キッズコーナーや、車幅に余裕のある広い駐車場を設けることで、誰もが利用しやすい地域交流の場としても期待されています。



農産物の安全・安心対策担当者会議
(11.27 JAビル)



JAグループ野菜生産対策会議
(11.27 JAビル)

■農産物の安全・安心に向けた取り組みを強化

11月27日(木)、群馬県営農総合支援センター主催の「農産物の安全・安心対策担当者会議」が開催され、13JA・JA群馬中央会・県・当県本部の担当者約35名が出席しました。会議では、生産履歴記帳推進やGAP(農業生産工程管理)手法導入推進と併せ、近年発生した農薬事案の傾向と対策を報告すると共に、各JAにおける農産物の安全・安心対策強化に向け意見交換が行われました。

■生産対策を協議し情報の共有化を図る

11月27日(木)、群馬県営農総合支援センター主催の「JAグループ野菜生産対策会議」が開催され、10JA・JA群馬中央会・県・当県本部の担当者約25名が出席しました。会議では、県営農総合支援センターによる野菜振興取組実績や豪雪被害に係る野菜の生産販売などについての報告が行われるとともに、各JAからは振興品目の具体策の実践状況の報告が行われ、野菜振興の取り組み強化について協議しました。

JA全農WCBF少年野球教室

～子供たちへ元プロ野球選手が技術指導～



▲指導を受ける子供たち

本会は、スポーツを通じて次世代を担う子供たちの夢や体力づくりを応援するため、一般社団法人世界少年野球推進財団(WCBF)主催の「JA全農WCBF少年野球教室」に特別協賛しています。今年度6回目となる同教室は、11月8日(土)に富岡市の富岡市民球場にて開催され、県内の子供たち・指導者・保護者など約280名が参加しました。当日は、プロ野球で活躍した西崎氏・市川氏・宮本氏・屋鋪氏を講師に迎え、子供たちに「投げる」「打つ」「捕る」「走る」の基本を指導しました。

他にも、トレーナーの石川氏による指導者講習会や、管理栄養士の阿部氏による栄養学教室も併催されました。

施設住宅課主催

資産承継セミナー参加者募集!

～円滑な相続のための遺言書作成準備のために～

日時 平成27年1月29日(木)
13:30～15:00

会場 JAビル10階 第4会議室
前橋市亀里町1310番地

講師 草薙法律事務所 所長
JA全中・JAまちづくり情報センター 顧問
草薙 一郎氏

内容 円滑な相続のための相続法務

対象者 JAの組合員とその家族

定員 80名(申込順)

参加費 無料

申込方法 参加をご希望の方、ならびに当日の資料をご希望の方は、**1月23日(金)までに**
JA全農ぐんま施設住宅課まで電話でお申し込み下さい。

(予約制)

※お申込みいただいた個人情報は、今回のセミナー出席者の取りため、ご依頼への対応とJA及びJA全農ぐんまから後日、連絡をとらせていただく目的で利用いたします。その旨同意いただいたうえで、お申し込み下さい。



主 催 JA全農ぐんま 施設住宅課 Tel 027-220-2294

New

パールライス®

鶴の舞

5kg

新発売 是非お試し
ください!

地産地消で
元気なぐんま!!

群馬県産ブレンド米

鶴の舞

群馬県産ブレンド米「鶴の舞」発売記念
群馬のお米応援
キャンペーン

キャンペーン期間中「鶴の舞」をご購入いただいたお客様に抽選で
群馬県産上州牛・上州麦豚を
毎月100名様、合計**400**名様に
プレゼント!!

毎月50
名様

鶴賞
上州牛肩ロースすき焼き用
500g

毎月50
名様

舞賞
上州麦豚ロースすき焼き用
500g

※写真はイメージです。

キャンペーン期間
2014年12月1日(月)～2015年3月31日(火)まで

キャンペーンの応募・お問い合わせ先
〒379-2147 前橋市亀里町 1310 番地
JA全農ぐんま 米麦特産課
「群馬のお米応援キャンペーン」係 ☎027-220-2271

2015年 JA全農ぐんま オリジナルカレンダー完成!



▼ 2015年版カレンダー写真 ▼



写真が採用された方には、1万円分のJA-SSプリペイドカードプレゼント!

2015年のカレンダーが完成しました! カレンダー用写真にたくさんのご応募をいただきまして誠にありがとうございます。引き続き、2016年カレンダーの作成にあたり写真を募集いたします。なお、採用された作品を提供して下さった方には、賞品として1万円分のJA-SSプリペイドカードを進呈いたします。奮ってのご応募をお待ちしております。

カレンダー用写真応募要項

① 募集写真

テーマ：地元の農業に関連した風景
(圃場・収穫・祭事等)

※群馬県内で撮影された未発表作品に限ります。
応募点数に制限はありません。

② 応募期限

平成27年8月末日

③ 応募方法

プリントアウトされた写真またはフィルム・データ等を提出先に郵送またはEメールにて送付してください。その際、写真のテーマ・撮影場所・撮影年月と応募いただいた方の氏名、住所、電話番号をご記入ください。

(規格)

・フィルムカメラ(横)

6cm×4.5cm以上のポジフィルム(リバーサル)

・デジタルカメラ(横)

1000万画素以上
(2660ピクセル×3760ピクセル以上)

④ 応募上の注意

(1)プリントアウトされた写真の場合、選考後にフィルム・データの提出を別途依頼することがあります。

(2)応募作品は返却いたしませんので、予めご了承願います。

(3)採用作品の優先使用権は全農群馬県本部に帰属いたします。ただし、著作権は応募者のものとなります。

(4)応募作品の被写体の肖像権侵害等の責任は負いかねます。

(5)応募いただいた方の個人情報は、採用の通知やフィルム・データの提出依頼、賞金を配布する場合にのみ使用させていただきますのでご了承願います。

(6)応募作品は、県本部通信等でご紹介させていただくことがありますので、ご了承願います。

(7)採用作品については、内定者に後日通知いたします。

(8)応募作品は27年度以降のカレンダーに採用されることがあります。その場合、賞品は採用年度に進呈いたします。

⑤ お問い合わせ・提出先

〒379-2143 群馬県前橋市亀里町1310

JA全農ぐんま 管理部 企画開発課

「カレンダー写真」係

Tel : 027-220-2223

Fax : 027-220-2229

E-mail: info-gunma@gm.zennoh.or.jp

みどりの風

GTV 48ch 放映のお知らせ

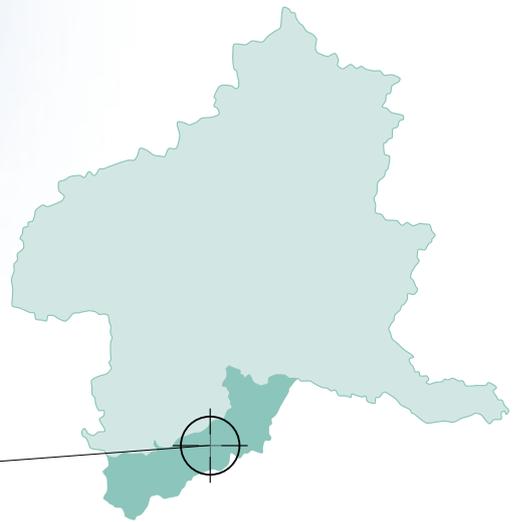
番組名/提供	放送日 ※再放送日	時間
新春対談/JA群馬中央会	1月5日(月)	PM 9:00~9:30
	※1月11日(日)	AM 8:00~8:30



三隅 有里子 アナ

農業 チャレンジ

JAたのふじ



一から作るこだわりのナス

JAたのふじ管内 若林 昌史 さん



若林 昌史
(わかばやしまさし) さん

1970年生まれ、44歳。
JAたのふじナス選果機利用部
会に所属。

年間出荷量：40トン
(5,000ケース)
趣 味：ドライブ

就農までの道のり

今回のチャレンジャーは、JAたのふじ管内で両親と共にナスの露地栽培とハウス栽培を行う若林さんです。「農業を営む両親の姿を見て育ち、幼い頃は手伝いをしていました。東京で会社員として働いていたのですが、自由に伸び伸びと行える農業に魅力を感じ、26歳の時に群馬に戻り就農しました。」と話してくれました。

7年前に父親から経営を引き継ぎ、一家の大黒柱として活躍しています。

試行錯誤の日々

若林さんの圃場では、「くろべえ」という品種のナスを栽培しており、今の時期(11月)は露地ナスの収穫がほぼ終了し、ハウス栽培の播種準備を始めていました。「15年前から、自分で苗を作っています。始めたばかりの頃は、なかなかうまくいかず、接木の仕方など試行錯誤の繰り返しでした。自分なりのやり方を確立するのに4年程かかりましたが、効率の良い生産が可能になりました。何よりも、自らが手塩にかけて育てた苗は安心ですし、良いものが

出来ますからね。」と話してくれました。

おすすめの食べ方は「焼きナス」で、丹精込めて作ったナスを多くの人に食べて欲しいといいます。

目標に向かって前進

JAたのふじナス選果機利用部に所属している若林さん。会員同士で情報を共有化し、互いに切磋琢磨しながら地域農業の活性化を図っています。「自分が部会に入った頃は、若手が少なかったのですが、近年は新しい仲間も増えて嬉しく思います。後輩たちに教えるからには、自分もしっかりしたものを作らなければという思いで活動しています。」と話してくれました。

最後に、今後の展望を伺うと、「年間40トンの生産量を維持しており、経営も安定してきています。今後は、年間50トンを目指し、今の規模で単収を増やす努力を続けたいと思います。」と若林さん。

農業に対する熱い思いと優しい笑顔が印象的でした。



1



2



3



4

- 1 「手間をかけても、自分が納得のいくやり方で勝負していきたい」と若林さん。
- 2 出荷を待つ、美味しそうなナス。
- 3 「若手の存在は良い刺激になる。負けないよう頑張りたい」と話す。
- 4 圃場内の様子。

がんばってまーす!

INTERVIEW

JAあがつま
西部営農経済センター

高山 和彦さん

Profile

たかやま・かずひこ（22歳）

趣味..... 音楽鑑賞

好きなたべもの..... そば

嫌いなたべもの..... アボカド

●職場の皆さんからみた高山さん

「若手の中心になって頑張っています。何事にも真面目に慎重に取り組む姿に、職員一同期待しています！」

「地域農業の 更なる活性化に貢献したい」

— どうしてJAに就職したのですか？

農業高校に通っていたので、学んだ知識を活かせる職業に就きたいと思ったからです。

— 現在の仕事内容を教えてください。

ここ西部営農経済センターで、生産資材や農薬の販売・配達・在庫管理などを行っています。また、夏場は野菜の荷受け作業も担当しています。

— 入組して何年目ですか？

4年目になります。入組当初は商品に関する知識がなく、組合員の方や先輩に教えてもらいながら覚えられました。現在も新商品にも対応できるよう、研修会などに参加し知識の習得に励んでいます。

— どんな時にやりがいを感じますか？

組合員の皆さんから「ありがとう」と言われた時ですね。自分が役だっていることを実感します。

— 仕事をするにあたり、気を付けていることを教えてください。

周囲とのコミュニケーションを大切にし、一度失敗したことを繰り返さないことです。分からないことはその場で聞き、一つ一つの仕事を確認しながら行うようにしています。

— 職場の雰囲気は如何ですか？

自分が一番年下なのですが、皆さん話しやすく、相談にものってくれるので仕事がしやすいです。

— 趣味は音楽鑑賞とのことですが。

はい。音楽を聴くことでリフレッシュされ、良い気分転換になります。毎日聴いていますよ。

— どんな音楽を聴いているのですか？

ロックですね。

— 中でも、好きなバンドを教えてください。

ビートルズです。親の影響で小さいころから聴いていました。

自分でギターを演奏することも好きなので、学生時代はバンドを組んで演奏していました。

— 最後に、今後の意気込みを聞かせてください。

JAあがつまには、花豆・高原野菜・こんにやくなど多くの特産品があることを知って欲しいですね。そして、地域農業を支える組合員の方々の役に立てるよう、これからも精一杯頑張ります！

— 高山さん、お忙しい中ありがとうございました。



畜産ダイジェスト

酪農情勢

■生乳生産量

農林水産省は11月25日に10月の牛乳乳製品統計を公表した。10月生乳生産量は59万8,138tで前年同月比1.7%の減となった。北海道は31万3,339t(前年同月比0.9%減)で生産量の全国シェアは52.4%となった。都府県の生産量は28万4,799tとなり、前年同月比で2.5%減少した。

■販売及び乳製品情勢

10月の用途別処理量は、牛乳等向けが34万5,738t(前年同月比1.3%減)、乳製品向けが24万7,492t(〃2.3%減)となった。

飲用牛乳等生産量は30万7,191 kl (〃2.2%減)で前月から0.5ポイント増加し、内牛乳が26万7,267 kl (〃1.8%減)、さらに乳飲料は12万9 kl (〃3.8%減)で前月より0.3ポイント減少した。

生乳生産量と用途別処理量

(単位：t、%)

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
生乳生産量	全 国	626,346	572,501	643,041	626,764	650,316	618,861
	群馬(委託実績)	18,314	15,987	19,066	18,815	19,236	17,948
	本会(委託実績)	5,901	5,294	6,256	6,193	6,293	5,833
用途別処理量	飲用牛乳等向け	313,870	302,630	315,910	318,995	342,141	345,154
	乳製品向け	307,918	265,027	322,423	302,703	303,151	268,658
	その他向け	4,558	4,844	4,708	5,066	5,024	5,049
前年対比	生乳生産量(全国)	97.2	96.3	96.8	96.4	96.9	97.0
	〃(群馬)	97.7	91.7	95.8	96.0	96.4	96.3
	〃(本会)	103.1	98.9	102.1	94.4	94.8	94.7
	飲用牛乳等向け	97.9	100.5	98.5	98.4	98.8	99.6
	乳製品向け	96.6	91.8	95.1	94.2	94.7	93.6
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
	618,018	600,000	583,464	598,138			6,137,449
	17,609	16,953	16,478	16,997			177,403
	5,646	5,411	5,264	5,468			57,559
	337,099	316,617	342,273	345,738			3,280,427
	275,983	278,484	236,281	247,492			2,808,120
	4,936	4,899	4,910	4,908			48,902
	97.8	98.8	98.4	98.3			97.4
	96.3	96.5	96.6	96.6			96.0
	94.2	95.5	94.0	94.8			96.7
	96.4	96.2	96.8	98.7			98.2
	99.4	101.6	100.6	97.7			96.5

肉牛情勢

肉牛枝肉相場(12月予想) 出荷減の中で年末の需要期を迎え強い。季節的にロースなど高級部位の消費が盛んになるが、売れ筋は割安感のあるウデ、モモなど。

肉牛枝肉相場(予想)

和牛去勢A5 2,450円中心
和牛去勢A4 2,200円中心

和牛去勢A3 2,050円中心
和牛去勢A2 1,730円中心
交雑去勢B5 1,890円中心
交雑去勢B4 1,590円中心
交雑去勢B3 1,400円中心
交雑去勢B2 1,350円中心
乳牛去勢B2 850円中心

枝肉価格の推移(群馬県食肉卸売市場)

(単位：円/kg、税込み)

年・月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均・計	
和牛去勢A4	25年	1,695	1,750	1,785	1,749	1,829	1,901	1,829	1,832	1,896	1,929	1,999	2,076	1,856
	26年	1,900	1,904	1,902	1,899	1,914	1,893	1,862	1,959	2,006	2,129	2,166		1,958
	前年格差	205	154	117	150	85	▲8	33	127	110	200	167		102
和牛去勢A3	25年	1,585	1,615	1,633	1,627	1,717	1,710	1,664	1,649	1,710	1,780	1,852	1,813	1,696
	26年	1,658	1,693	1,718	1,669	1,664	1,658	1,662	1,726	1,797	1,988	2,019		1,750
	前年格差	73	78	85	42	▲53	▲52	▲2	77	87	208	167		54
和牛去勢A2	25年	1,180	1,419	1,479	1,508	1,472	1,522	1,441	1,405	1,521	1,662	1,579	1,583	1,481
	26年	1,371	1,516	1,478	1,516	1,492	1,486	1,455	1,532	1,663	1,757	1,863		1,557
	前年格差	191	97	▲1	8	20	▲36	14	127	142	95	284		76

群馬県食肉卸売市場上場頭数

(単位：頭)

年・月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均・計
25年	1,000	1,123	1,025	1,236	929	898	1,126	1,098	1,090	1,162	1,584	1,385	13,656
26年	1,132	1,186	1,139	1,291	1,098	1,104	1,262	1,068	1,216	1,232	1,465		13,193
前年増減	132	63	114	55	169	206	136	▲30	126	70	▲119		▲463

■素牛動向

- ①全農・取引基準価格(乳去) 260~300kg 517円/kg平均(前月比106.6%)
- ②F1価格(去勢) 250~300kg 1,219円/kg平均(雌) 250~300kg 1,149円/kg平均
- ③和牛子牛(去勢) 629千円平均(前月比104%) (雌) 546千円平均(前月比103%)

養豚情勢

枝肉相場関係

豚群馬県食肉卸売市場（上物加重・円/kg）

（単位：円税込）

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間平均
24年(A)		390	393	388	397	420	479	443	468	425	365	358	418	412
25年(B)		363	390	404	450	499	485	498	507	499	466	477	521	463
26年(C)		458	467	496	553	582	621	580	548	548	517	569		540
(B-A)		▲27	▲3	16	53	79	6	55	39	74	101	119	103	51
(C-B)		95	77	92	103	83	136	82	41	49	51	92		77

豚肉価格形成要因

豚群馬県食肉卸売市場と畜頭数（自家用と畜は除く）

（単位：頭）

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間頭数
と畜頭数	25年	45,435	40,085	41,826	42,393	40,315	34,599	40,317	37,843	39,480	47,010	43,823	45,029	498,155
	26年	43,425	39,985	39,852	44,690	39,069	36,628	39,821	35,032	40,542	44,979	36,865		440,888
前年比(%)		95.6	99.8	95.3	105.4	96.9	105.9	98.8	92.6	102.7	95.7	84.1		88.5

肉豚生産出荷予測（全国） *10月まで実績／11月以降の出荷予測は

11月7日付けで農水省畜産部食肉鶏卵課が発表

（単位：千頭、前年同月比%）

区分	月	7月	8月	9月	7～9月	10月	11月	12月	10～12月	1月	2月	3月	1～3月	4月
全国出荷予測頭数(千頭)		1,335	1,222	1,336	3,894	1,429	1,397	1,470	4,296	1,414	1,330	1,367	4,111	1,377
前年同月比(%)		97	93	98	96	93	93	95	94	97	99	100	99	99

■生産動向：農水省食肉鶏卵課の肉豚生産出荷予測によると、12月の出荷見込頭数は1,470千頭（前年同月比95%）となっている。その後は1月1,414千頭（97%）、2月1,330千頭（99%）と予想されている。豚肉はしっかり。春先に流行したPEDの影響で、と畜数が減っているため。市場関係者は減産の影響を、「肉質が劣る並以下の枝肉でも引き合いが強まる。上物との価格差が更に小さくなるだろう」と見る。

鶏卵情勢

鶏卵相場関係

■Mサイズ基準値

14年12月255円（見込み）91%（前年比）

（単位：円）

価格の推移

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間平均
25年(A)		171	190	175	172	164	155	157	175	211	220	260	280	194
26年(B)		224	240	230	223	204	199	190	192	231	240	242		220
(B-A)		53	50	55	51	40	44	33	17	20	20	▲18	0	25
全国基金 補填	25年	18,999	0	9,774	15,714	21,645	24.3	24.3	9,306	0	0	0	0	
	26年	0	0	0	0	0	0	2,088	0	0	0	0		

※平成24年度鶏卵価格差補填事業については、9月以降補填財源はありません。

■価格動向：11月の平均単価は242円（前年同月▲18円）と前年同月を下回り、平成25年12月～平成26年11月期平均は225円（前年同期比+35円）であった。

■出荷動向：気温低下で引き続き卵重、産卵率が上がる。今年は猛暑などによる影響もなく、生産が安定している。

■需要動向：寒さが強まり、おでんなどの需要が高まるうえ、クリスマスケーキやおせち料理などの加工筋が動く。

卵価要因

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
加工卵輸入 実績(t)	25年	1,838	1,961	1,997	2,283	2,151	1,776	2,084	2,488	1,867	2,201	2,451	2,631	25,728
	26年	3,060	2,845	2,688	2,286	2,314	2,393	2,427	2,137	1,974				22,124
前年比(%)		166.5	145.1	134.6	100.2	107.6	134.8	116.5	85.9	105.7				86.0
餌付羽数 (千羽)	25年	7,215	7,317	7,520	7,742	7,767	7,895	7,200	6,896	8,170	7,346	7,464	7,636	90,168
	26年	7,251	7,569	7,734	7,715	8,291	8,405	8,408	7,048	8,622	8,071			79,114
前年比(%)		100.5	103.4	102.8	99.7	106.7	106.5	116.8	102.2	105.5	109.9			87.7

■餌付見込

※農水省は餌付け羽数見込みを公表しないことになったため、今後、餌付け羽数実績のみ掲載することになります。

■価格の推移

(7) 22年:194円
(8) 23年:188円
(9) 24年:181円
(10) 25年:207円
(1) 16年:173円
(2) 17年:204円
(3) 18年:184円
(4) 19年:169円
(5) 20年:193円
(6) 21年:175円

■原料情勢

①とうもろこし (シカゴ定期)

11月9日の米国農務省需給見通しによると、米国とうもろこしの新穀2014/15年度産の単収が173.4ブッシェル/エーカーに下方修正された(前回発表174.2ブッシェル/エーカー)。作付面積は90.9百万エーカーと変更がなかったものの、生産量は14,407百万ブッシェルと前回発表から68百万ブッシェル減少した(前回発表14,475百万ブッシェル)。期首在庫については変更がなかったが、供給量全体は前回発表から68百万ブッシェル減の15,668百万ブッシェルとなっている。需要量については前回発表から5百万ブッシェル増加し、期末在庫は前回発表より73百万ブッシェル減の2,008百万ブッシェル(在庫率14.70%)に下方修正されている。

シカゴ定期は、11月の米国農務省需給見通しにおいて生産量見通しが予想外の引き下げとなったことや、生産者による現物の売却が遅れていることから、12月限のシカゴ相場は、380セント/ブッシェル前後で推移している

FOBプレミアムは、景気回復に伴う生活・生産資材を輸送する船(はしけ)への強い引き合いにより上昇していたが、不足していた貨車やトラック等の物流が回復してきたため、若干緩んでいる。

②大豆粕

11月10日発表の米国農務省需給見通しによると、米国大豆の新穀2014/15年度産は、単収が47.5ブッシェル/エーカーに上方修正されたため、生産量が3,958百万ブッシェルとなり(前回発表3,927百万ブッシェル)、供給量全体としては4,065百万ブッシェルに上方修正された(前回発表4,034百万ブッシェル)。需要量は搾油と輸出需要の増加により32百万ブッシェル上方修正され、3,615百万ブッシェルとなる見込み。2014/15年度産の期末在庫は需要の増加と生産量の増加が相殺され、前回発表から変更なく450百万ブッシェルとなるものの、在庫率は需要の増加により12.45%となった。

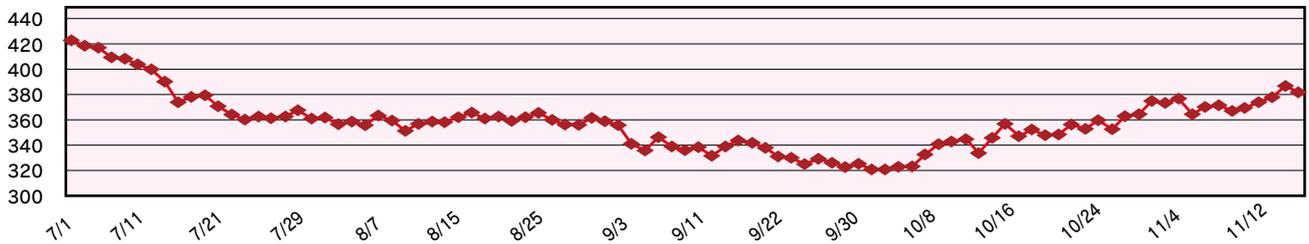
大豆粕のシカゴ定期は、大豆・大豆粕の需要が世界的に旺盛であることから、12月限は390ドル/ショートトン前後で推移している。

■海上運賃

パナママックスのガルフ/日本運賃は、北米新穀の輸送需要の本格化から10月後半は上昇したものの、11月に入り燃料価格下落を受け軟調に推移している。燃料相場の弱い動きが継続する見通しから、今後の相場はやや軟調～横ばいで推移すると見込まれる。

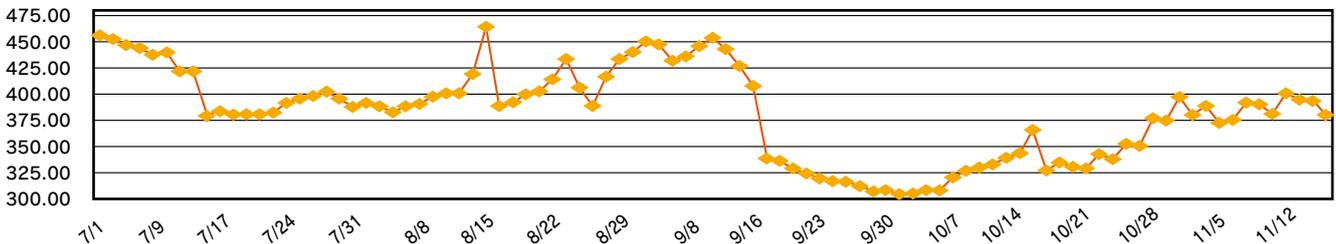
セント/ブッシェル

トウモロコシ 期近限月



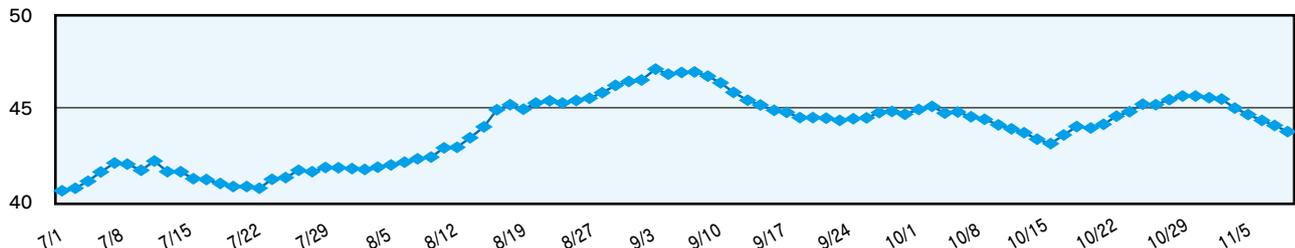
セント/ブッシェル

大豆粕 期近限月



ドル/トン

【海上運賃】



花木流通センター-便り

花木流通センターの耳寄りな情報をお届けします！



今年もこの季節がやってまいりました！
1月31日(土)・2月1日(日)の2日間、毎年大好評の「洋ランフェア」が開催されます。会場では、胡蝶蘭・カトレア・シンビジウムといった良質な洋蘭を大特価でご提供します。また、31日には「いちご祭り」も併催されますので、是非この機会にお立ち寄りください。ご来店を心よりお待ちしております。

1月の売出し・イベント案内

色々な売出しやイベントが目白押し。ぜひお出かけください！

開催日	内容
1月24日(土) ・25日(日)	JA農畜産物フェア
1月31日(土)	いちご祭り
1月31日(土) ・2月1日(日)	洋蘭フェア ※タイムセールの日などはお問い合わせください。

※売出し・イベントの日程・内容は変更になる場合があります。



花木流通センター

営業時間:年中無休/9:00~18:00

(節電のため7月~9月毎週火曜日定休)

取扱商品

■園芸資材館/営農・園芸資材等 ■ふらわーらんど/鉢花、花苗等 ■JA植木コーナー/緑花木、盆栽等 ■エクステージ/外構・造園工事等 ■ブランド野菜館/産直野菜、農産加工品等 ■外売場/野菜苗、大型肥料・用土、植木鉢等



お問い合わせ先

前橋市亀里町1307-1
TEL:027-220-2427
FAX:027-220-2424

愛菜館

営業時間:毎週火曜日定休/9:00~18:00

取扱商品

■産直野菜
農産加工品/店頭精米等



お問い合わせ先

前橋市古市町106-1
TEL:027-210-7788
FAX:027-210-9811

『県本部通信』における個人情報の取扱いについて

『県本部通信』に投稿いただいた方の個人情報は、プレゼントの発送やお返事、紙面での紹介に使用させていただきますのでご了承ください。また、これらの個人情報は前記の目的以外には使用せず、ご本人より事前に同意をいただいた場合以外には一切開示いたしません。

自由なご意見・ご感想をお寄せください。

《あて先》

〒379-2147 群馬県前橋市亀里町1310番

「県本部通信」係まで

E-mail : info-gunma@gm.zennoh.or.jp

※JAメール等でも結構です。

プレート
キャンバスに
見立てて

Art Cooking

Food adviser - 石垣 恵美

1979年から群馬県家の光講師。
FM局等でも活躍中。



レンジで簡単
スピード料理

白菜の豚ひき肉蒸し

材 料

2人分 (1人分239cal)

白菜 …… 小1/2玉(600g弱)
豚ひき肉 …… 80g
（酒 …… 小さじ2
塩・コショウ …… 少々
酒 …… 大さじ2
麵つゆ …… 大さじ3
トリガラスープの素
…………… 小さじ1
ごま油 …… 大さじ1
パセリ(みじん切り) …… 少量

作り方

- 1 洗った白菜の水けをサツときり、5cm程の幅に切る。
- 2 豚ひき肉に、酒・塩・コショウを入れ混ぜる。
- 3 深めの器に、白菜を株のようにぎっしり詰める。
- 4 3の上に2のひき肉を散らし、酒・麵つゆ・トリガラスープの素・ごま油をかけてラップをし、5～6分レンジで加熱する。(白菜が透明になる位。レンジのワット数によって時間を調節する。)
- 5 ラップをはずし、みじん切りにしたパセリをちらす。